変性エポキシ樹脂下塗り塗料

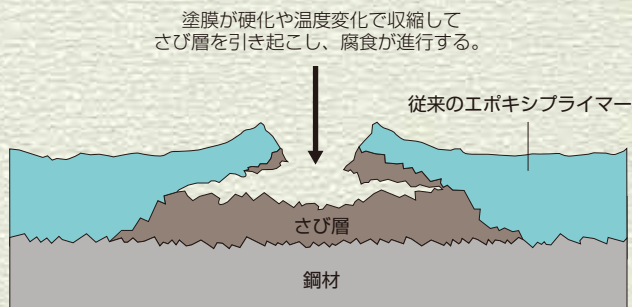
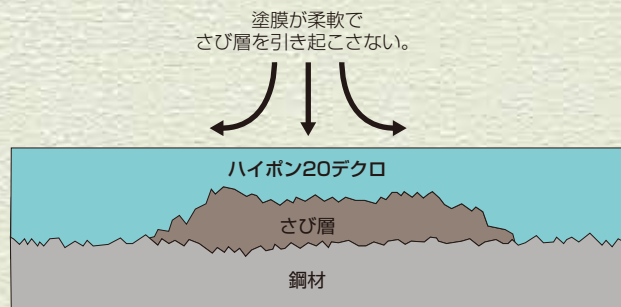
ハイポン20デクロ

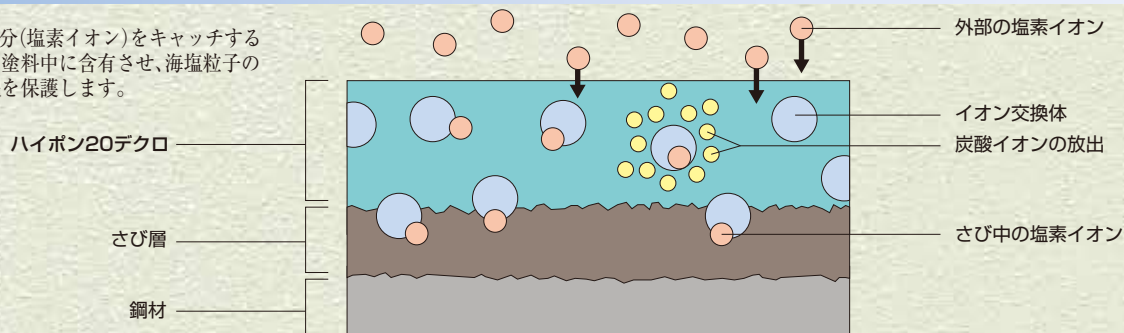
ホルムアルデヒド 放散等級
F☆☆☆☆

塗り替え塗装での省力化と合理化に最適!!

Ⅰ．塗膜の柔軟効果（内部応力の低下）

さび面は錆粉や空間部が多く、付着力の弱い層なので、その上に塗装した場合を図で比較すると………（2種ケレン面の残存さび層の拡大図）

■従来のエポキシプライマーの場合

■ハイポン20デクロの場合

Ⅱ．イオン交換体の効果

腐食性物質の塩分(塩素イオン)をキャッチする
イオン交換体を塗料中に含有させ､海塩粒子の
悪影響からも鉄を保護します。

標準塗装仕様

■ポリウレタン樹脂塗料仕上げ

工　　程	塗　料　名	標準塗付量 (kg/㎡/回)	塗り回数	塗り重ね乾燥時間（20℃）	シンナー名 希釈率	標準膜厚 (㎛/回)
素地調整	発錆部については ISO St3 まで、活膜部についてはチョーキング・油脂・各種塩類などの付着物をサンドペーパーがけなどの方法で、除去清掃してください。					
下　塗　り	ハイポン20デクロ	0.20 (はけ・ローラー)	1〜2	16時間以上 1カ月以内 (※注1、注2)	ハイポンエポキシシンナー 0〜5%	50
中　塗　り	ハイポン30マスチック中塗K	0.14 (はけ・ローラー)	1	16時間以上 10日以内	ハイポンエポキシシンナー 0〜5%	30
上　塗　り	ハイポン50上塗	0.12 (はけ・ローラー)	1	—	ハイポンウレタンシンナー 0〜10%	30

※注1　ハイポン 20 デクロ同士……16 時間以上 1 カ月以内。ハイポン 20 デクロ + ハイポン 40 上塗……16 時間以上 7 日以内。
　注 2　ハイポン 20 デクロ + ハイポン 50 上塗……16 時間以上 7 日以内。

■ふっ素樹脂塗料仕上げ

工　　程	塗　料　名	標準塗付量 (kg/㎡/回)	塗り回数	塗り重ね乾燥時間（20℃）	シンナー名 希釈率	標準膜厚 (㎛/回)
素地調整	発錆部については ISO St3 まで、活膜部についてはチョーキング・油脂・各種塩類などの付着物をサンドペーパーがけなどの方法で、除去清掃してください。					
下　塗　り	ハイポン20デクロ	0.20 (はけ・ローラー)	1〜2	16時間以上 1カ月以内	ハイポンエポキシシンナー 0〜5%	50
中　塗　り	デュフロン100中塗K	0.14 (はけ・ローラー)	1	16時間以上 10日以内	ハイポンエポキシシンナー 0〜5%	30
上　塗　り	デュフロン100フレッシュ	0.12 (はけ・ローラー)	1	—	デュフロン100フレッシュシンナー 0〜10%	25

注)CR ペイント上塗(フタル酸樹脂塗料)など各種仕上げ塗料との組み合わせが可能です。
上記仕様の各数値は標準の数値です。橋梁に関しては､橋梁用製品説明書および各公団の成分性能表を参照してください。

テスト結果　自然暴露2年（2種ケレン面塗装）

条件

1. 場　　所:
日本ペイント鳴門暴露試験場
（徳島県鳴門市）

2. テスト板:
サンドブラスト後､6カ月暴露の鋼板を
ワイヤーホイールにて2種ケレンした。

3. 膜　　厚:
テストⅠ／
50㎛×1＋上塗り（ハイポン50）30㎛×1
テストⅡ／
50㎛×2＋上塗り（ハイポン50）30㎛×1

4. そ の 他:
塗り回数は、発錆促進のため、
標準仕様より減らしてあります。

	ハイポン20デクロ	従来のエポキシプライマー	市販悪素地用プライマーA	市販悪素地用プライマーB
テストⅠ				
テストⅡ				

素地との付着性

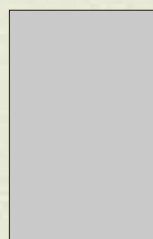
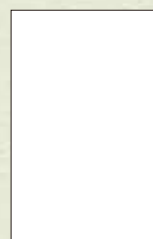
素地	付着性	備考
鉄	○	
ステンレス	○	SUS316、SUS304など
溶融亜鉛めっき	○　※	白さび除去必須
クロメート処理亜鉛めっき	○～△	十分な付着性が必要なときは、ハイポンファインプライマーⅡをご使用ください
電気亜鉛めっき	○	ボンデライトなど
アルミ	○	A1050Pなど
アルミアルマイト	○	
プラスチック	×	

※　1カ月以上暴露してください。それでもキラキラしている個所はペーパー研磨が必要です。

容　量

	20kgセット	5kgセット
ハイポン20デクロ	塗料液／硬化剤 17kg／3kg	塗料液／硬化剤 4.25kg／0.75kg
ハイポン20デクロW	塗料液／硬化剤 17kg／3kg	－
ハイポンエポキシシンナー （2液形用）	16L	4L

色　相

※ 色は印刷インキのため近似色です。

ブラウン（D07-40P近似）　グレー（DN-70近似）

ホワイト（D25-85A近似）

淡彩色

規　格

各橋梁施主およびJASS 18M-109などの規格に合格しています。

ハイポン20デクロ

ご注意

1. **ハイポン 20 デクロ**は低温時において乾燥が著しく低下し、乾燥過程で種々の塗膜欠陥を生ずることがありますので 5℃以下の気温が連続する場合は、**ハイポン 20 デクロ W** をご使用ください。
2. **ハイポン 20 デクロ W** は外気温が 20℃以上になりますと、ポットライフが著しく短くなりますので、20℃以上の外気温が連続する場合は、一般用の**ハイポン 20 デクロ**をご使用ください。
3. 没水部などへの適用については、当社にご相談ください。
4. ウエットフィルムゲージでウエット膜厚を管理しながら塗装してください。
5. その他の注意事項につきましては、使用説明書などをご参照ください。

使用方法

下 地 調 整 ： ① 1種ケレン後ジンクリッチプライマーを塗装した上に塗装することができます。
② ジンクリッチの損傷個所・溶接部分などについて2種ケレンを行えば直接補修用として使用できます。
③ 塗り替え時の下地調整は発錆部についてはISO St3まで、活膜部についてはチョーキング・油脂・各種塩類などの付着物をサンドペーパーがけなどの方法で、除去清掃してください。
④ 暴露経過後の亜鉛めっき面に塗装するときは、白さびおよび付着物を十分に除去してください。

調　　合 ： 2液形のため塗料液と硬化剤を規定の割合〔重量比（塗料液85／硬化剤15）〕に混合し、十分かくはん後ご使用ください。

ポットライフ ： ハイポン20デクロ　12時間（5℃）　8時間（20℃）　5時間（30℃）
ハイポン20デクロW　6時間（－5℃）　4時間（5℃）　3時間（10℃）

シ ン ナ ー ： ハイポン20デクロ　ハイポンエポキシシンナー
ハイポン20デクロW　ハイポンエポキシシンナーW
（夏用:ハイポンエポキシシンナーS
冬用:ハイポンエポキシシンナーWも取りそろえています。）

	ハイポン20デクロ		ハイポン20デクロW	
塗　装　方　法	はけ又はローラー塗り	エアレススプレー塗り	はけ又はローラー塗り	エアレススプレー塗り
希　釈　率	0～5%	0～5%	0～5%	0～5%
塗　付　量	0.20kg/m²	0.40kg/m²	0.20kg/m²	0.40kg/m²
乾　燥　膜　厚	50μm	80μm	50μm	80μm
ウェット膜厚	100μm	160μm	100μm	160μm

エアレス条件 ： 一次圧0.4～0.5MPa　二次圧12MPa 以上　チップNo.163-617、619など

※塗付量・膜厚は標準の数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器測定方法により幅を生じ増減します。

安全衛生上の注意事項（ハイポン 20 デクロ ホワイト塗料液）

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。—禁煙です。
- 湿気を遮断し、不活性ガスの下で取り扱ってください。
- 容器を密閉してください。
- 容器および受器を接地してください。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
- 火花を発生しない工具を使用してください。
- 粉じん/ガス/蒸気/スプレーなどを吸入しないでください。
- 必要なとき以外は、環境への放出を避けてください。
- この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないでください。
- 汚染された作業衣は密封袋に入れて作業場から出してください。
- 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 適切な保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。
- 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- ガスが発生し容器に圧力がかかることがありますので保護めがねを着用し、布（ウエス）でふたを押さえながらガスや塗料の噴出に注意して静かに開栓してください。
- 飲み込んだ場合:気分が悪いときは医師に連絡してください。口をすすいでください。
- 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
- 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
□詳細な内容、表示以外の商品については、製品安全データシート（MSDS）をご参照ください。
□本商品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

- 皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。
- 皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
- 取り扱った後、手を洗ってください。
- 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- 直ちにすべての汚染された衣類を脱いでください/取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。
- 粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
- 暴露したとき、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- 緊急の洗浄剤が必要な場合は、直ちに特別処置を実施する。
- 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消化器を用いてください。
- 水を消火に使用しない。
- 容器からこぼれたときには、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
- 乾燥した場所または密閉容器に保管してください。
- よくふたをし、5℃～40℃の屋内で貯蔵してください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。
- 50℃以上の温度に暴露しないでください。
- 施錠して子供の手の届かないところに保管してください。
- 直射日光や水漏れは厳禁です。
- 積み重ねは3段までとしてください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度　にしないでください。
- 内容物/容器を廃棄するときには、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときには、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

危　険

危険有害性情報

引火性液体および蒸気/水に触れると可燃性/引火ガスを発生/皮膚刺激/強い眼刺激/アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ/遺伝子疾患のおそれ/発がんのおそれの疑い/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ/臓器の障害（単回暴露）/長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害/水生生物に毒性（急性）/長期的影響により水生生物に毒性

●本カタログの内容については、将来予告なしに変更することがあります。

日本ペイント株式会社

お客さまセンター
☎03-3740-1120
☎06-6455-9113
http://www.nipponpaint.co.jp/

●ISO14001を全事業所で認証取得。　●このカタログは、再生紙を使用しています。

HA080210T
2008年2月現在